

## 2009年夏(6月～8月)の東北地方の天候

- 寡照
- 6月下旬から7月中旬の高温、7月下旬から8月の低温
- 梅雨入りは早く、梅雨明けの時期は特定できなかった

### (1) 2009年夏(6月～8月)の天候

6月の上旬・中旬は低気圧や気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多くかった。6月下旬は晴れの日が多くたが、7月から8月前半にかけては、発達した低気圧や梅雨前線、湿った気流や台風第9号の影響で、曇りや雨の日が多く、大雨となることもあった。8月後半は、天気は数日の周期で変わり、移動性高気圧におおわれて晴れる日もあった。

夏を通して、太平洋高気圧の日本付近への張り出しが弱かったため、寡照となった。気温は、6月下旬から7月中旬までは高かったが、7月下旬から8月は寒気や冷たく湿った東風の影響により低くなかった。

梅雨入りは、東北南部、東北北部ともに6月4日ごろで、東北南部は平年より早く、東北北部は平年よりかなり早かった。梅雨明けの時期は、東北南部、東北北部ともに特定できなかった。

3か月平均気温は東北地方で平年並。3か月間降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。3か月間日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

**6月：** 上旬・中旬は低気圧や気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多く、特に湿った東よりの風の影響を受けた東北太平洋側を中心に日照時間は少なかった。一方、下旬は梅雨前線が本州の南海上に停滞し、高気圧におおわれ晴れの日が多く、日照時間はかなり多かった。また、気温は、中旬は寒気や冷たく湿った北東風の影響により、東北太平洋側北部の沿岸部を中心に低温となったが、下旬は暖かい空気におおわれたため、顕著な高温となった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

**7月：** 梅雨前線が本州付近に停滞することが多く、また、低気圧が北日本を通過することが多かったため、東北日本海側を中心に曇りや雨の日が多くた。南から湿った空気が入りやすく、低気圧や梅雨前線の活動が活発になり大雨となることがあった。なお、上旬と中旬は東北太平洋側を中心に気温の高い日が多くたが、下旬は、寒気や冷たく湿った東風の影響により、気温の低い日が多くた。

月平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。月降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で平年並。月間日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

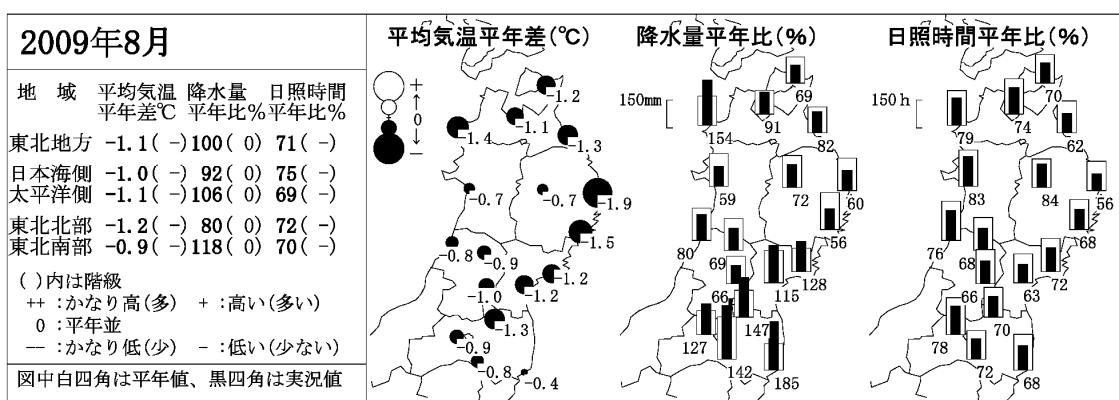
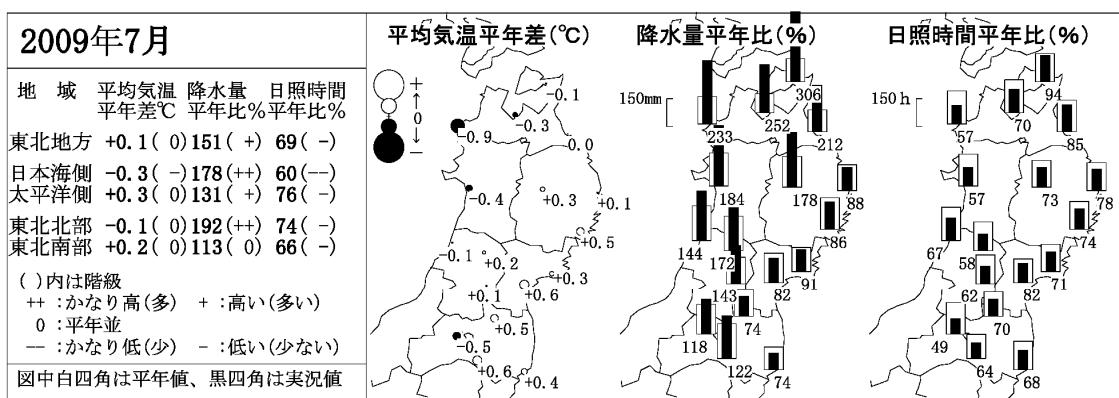
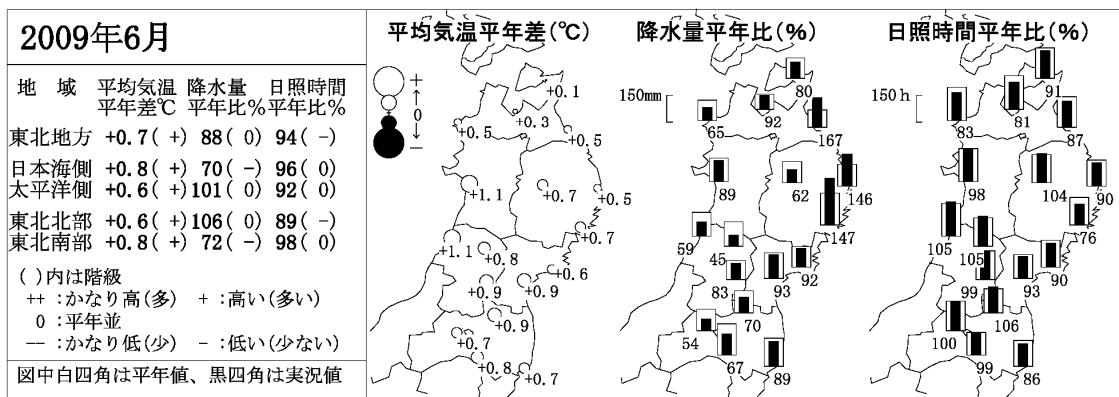
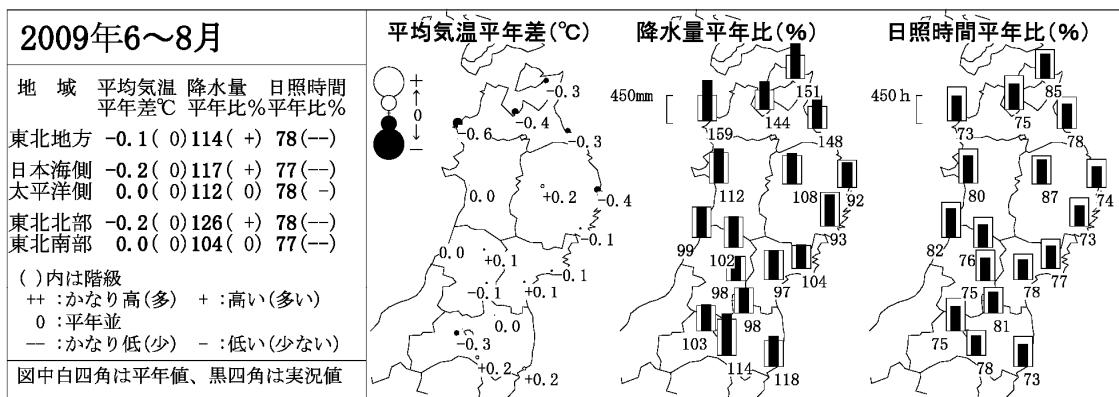
**8月：** 月を通じて太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱かったため、東北地方は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多くた。月の中頃から天気は数日の周期で変わり、晴れる日もあったが雲が広がりやすく、月間日照時間は少なかった。また、気温は月の前半は冷たく湿った東風の影響で東北太平洋側を中心に低く、月の後半は寒気の影響で低くなかった。10日は台風第9号周辺の湿った空気が流れ込んだ影響で東北南部を中心に大雨となったところがあり、31日は台風第11号の影響で東北太平洋側を中心に大雨となったところがあった。

月平均気温は東北地方で低い。月降水量は東北地方で平年並。月間日照時間は東北地方で少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

(2) 2009年夏(6月～8月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注) 東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

### (3) 2009年夏(6月～8月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数		日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		≥1mm	(h)	(%)		
青 森	20.0	( -0.4)	○	452.5	(144)	+*	35	413.3	( 75)	-*	
深 浦	19.9	( -0.6)	-	654.0	(159)	+*	34	397.5	( 73)	-*	
む つ	18.6	( -0.3)	○	560.5	(151)	+*	27	397.7	( 85)	-	
八 戸	19.3	( -0.3)	○	528.0	(148)	+	30	396.3	( 78)	-*	
秋 田	22.0	( 0.0)	○	548.0	(112)	○	34	440.9	( 80)	-*	
盛 岡	21.2	( +0.2)	○	495.0	(108)	○	38	394.9	( 87)	-	
大 船 渡	20.3	( -0.1)	○	510.0	( 93)	○	38	334.4	( 73)	-*	
宮 古	19.0	( -0.4)	○	403.0	( 92)	○	38	334.9	( 74)	-*	
仙 台	21.6	( +0.1)	○	458.0	( 97)	○	37	321.9	( 78)	-	
石 卷	20.7	( -0.1)	○	385.0	(104)	○	34	363.4	( 77)	-	
山 形	22.4	( -0.1)	○	389.0	( 98)	○	37	371.2	( 75)	-*	
新 庄	21.7	( +0.1)	○	498.5	(102)	○	44	370.2	( 76)	-*	
酒 田	22.5	( 0.0)	○	484.0	( 99)	○	40	465.3	( 82)	-	
福 島	22.9	( 0.0)	○	400.5	( 98)	○	33	342.4	( 81)	-	
若 松	22.4	( -0.3)	○	417.5	(103)	○	39	395.2	( 75)	-*	
白 河	21.4	( +0.2)	○	665.5	(114)	+	39	315.0	( 78)	-	
小 名 浜	21.5	( +0.2)	○	485.0	(118)	○	36	354.6	( 73)	-*	

(注) 1. 平年値は 1971~2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

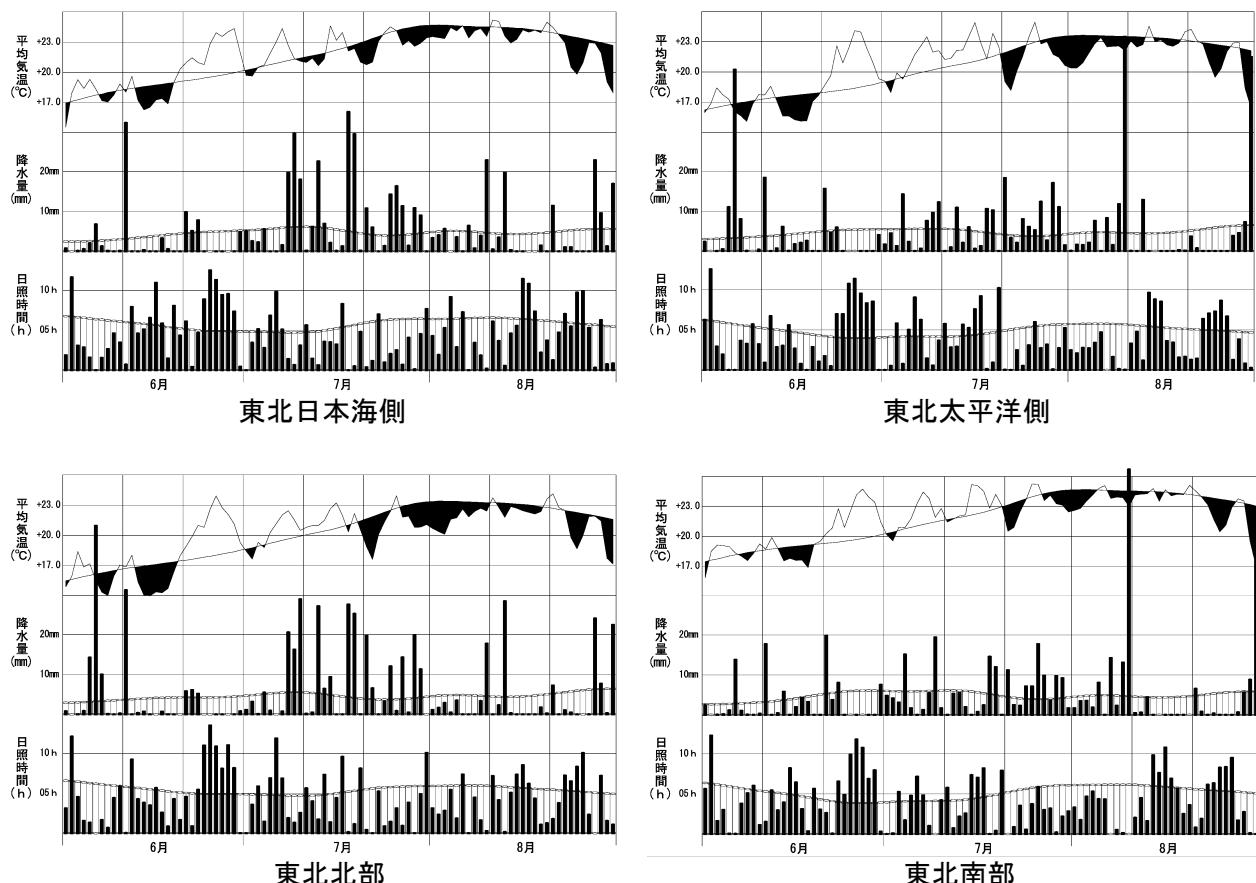
また、値が 1971~2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に \* を付加した。この場合には

と表現できる。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計月数（統計に用いた、品質が十分な月別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

#### (4) 2009年夏(6月～8月)の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

#### (5) 2009年夏(6月～8月)の極値・順位更新

(3か月平均気温、3か月間降水量、3か月間日照時間の3位以内のみ)

なし

(注) 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

#### (6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の1位のみ。)

月降水量多い方からの順位更新

月	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
7月	むつ	375.5	306	292.5 (1987)	1935	122.8

(注) 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

(7) 真夏日・猛暑日・日最低気温 25°C以上日の数と今夏の最高気温

	日最高気温30°C以上				日最高気温 35°C以上	日最低気温 25°C以上	今夏(6~8月)の 最高気温	
	6月		7月				夏	
	09年	平年	09年	平年	09年	平年	09年	平年
青森	2	0.4	0	3.9	2	7.6	4	11.9
深浦	0	0.0	0	1.4	0	3.9	0	5.2
むつ	0	0.1	0	2.1	0	4.0	0	6.2
八戸	4	0.6	1	5.2	1	7.4	6	13.2
秋田	2	0.2	3	4.9	5	9.7	10	14.8
盛岡	3	0.8	4	6.5	8	10.1	15	17.4
大船渡	2	0.4	2	3.4	0	5.7	4	9.6
宮古	2	0.6	2	4.4	0	6.8	4	11.7
仙台	3	0.4	6	5.1	1	9.9	10	15.4
石巻	1	0.1	1	2.3	1	4.8	3	7.2
山形	6	2.4	8	11.7	10	17.5	24	31.6
新庄	5	1.1	7	7.9	6	13.0	18	22.0
酒田	4	0.5	3	6.5	5	12.6	12	19.6
福島	6	3.4	14	13.3	14	18.1	34	34.9
若松	4	2.2	10	12.1	14	18.4	28	32.7
白河	2	0.6	4	6.8	4	10.7	10	18.2
小名浜	0	0.3	2	1.9	2	3.8	4	6.0

今夏(6~8月)の最高気温の「\*」は日最高気温の1位の値を更新。

(8) 2009年夏(6~8月)に日本(本土)に接近した台風

今年の台風は、8月31日現在11個発生している。夏(6~8月)の台風発生数は平年(11.2個)を下回る9個、本土接近数は平年(3.1個)を下回る2個であり、上陸した台風はなかった。

8月9日に発生した台風第9号は、10日に日本の南から東海道沖を東進し、この台風周辺の湿った空気が流れ込んだ影響で東北南部を中心に大雨となったところがあり、福島県で浸水害や山がけ崩れ害が発生した。

8月28日に発生した台風第11号は、31日から(9月)1日にかけて関東の東海上から三陸沖を北上した。この台風の影響で、31日は東北太平洋側を中心に、大雨となったところがあった。

今年と平年の月別の台風発生数、上陸数、本土接近数(2009年8月31日現在)

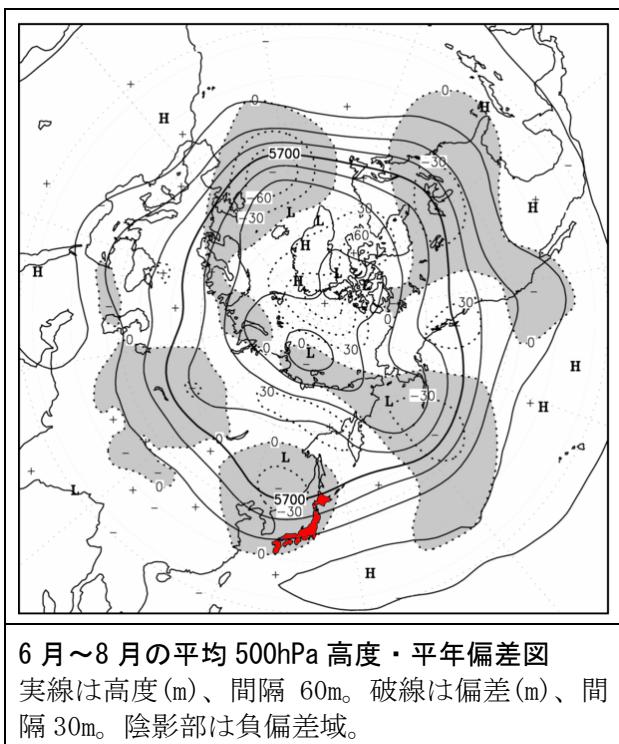
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数	今年					2	2	2	5					
	平年	0.5	0.1	0.4	0.8	1.0	1.7	4.1	5.5	5.1	3.9	2.5	1.3	26.7
上陸数	今年													
	平年						0.2	0.5	0.9	0.9	0.1	0.0		2.6
接近数	今年								2					
	平年					0.0	0.3	1.2	1.6	1.6	0.7	0.0		5.2

## (9) 東北地方の梅雨入り・梅雨明け

地 域	梅 雨 入 り (注)		梅 雨 明 け (注)	
	今 年	平 年	今 年	平 年
東北南部	6月4日ごろ	6月10日ごろ	特定しない	7月23日ごろ
東北北部	6月4日ごろ	6月12日ごろ	特定しない	7月27日ごろ

(注) 梅雨は季節現象であり、その入り・明けは平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。このため、時期の表現は「移り変わり」の期間の概ね中日をもって「\*\*日ごろ」としています。

## (10) 北半球の大気の流れ (6月～8月)



6月～8月の平均 500hPa 高度を見ると、極東域では、日本の南海上や東海上は正偏差だが、本州付近は負偏差。太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、朝鮮半島付近が気圧の谷となり西谷傾向となったため、前線や低気圧、南からの暖かく湿った気流の影響を受けやすかった。このため、東北地方は寡照となつた。

一方、オホーツク海付近は正偏差で、一時オホーツク海高気圧が出現し、冷たく湿った東風の影響を受けたことに対応している。